

職員における新型コロナウイルス陽性者の報告について(第1報)

令和4年1月23日(日)、介護老人保健施設サンビレッジの入所部門の職員1名について、新型コロナウイルスのPCR検査にて陽性であったとの連絡があり、対応を開始いたしました。今後、保健所とも連携しながら対応させていただく予定ですが、学校等を中心に感染者が多発するなど市内の状況が悪化しており、当施設として可能な対応も並行して進めさせていただいております。

当該職員は、同居家族の関係先で新型コロナ陽性者が確認されたとの情報があった日に早退をさせておりましたが、その後、感冒様症状があり、PCR検査を行ったところ、陽性と判明したものです(ご家族自身は現時点も無症状のままです)。現時点では施設外での感染を疑っておりますが、感染経路の断定は困難なため、当該職員が勤務していたフロアに入所の方全員にPCR検査を受けていただく予定としております。

ご家族のご協力もいただきながら入所の方のワクチン接種をすすめ、希望されない方、病状が不安定な方、予診票の到着が遅れた方などを除き、ほとんどの方の接種が終了しておりますが、接種後の時間があまり経過しないうちに職員から陽性者が出ることとなり、感染拡大の可能性に注意しながら検査等の対応を積極的に行う必要があると考えております。

なお、当施設の職員は、接種可能なもの全員の3回目接種は終了しておりますが、上記職員は2回目接種が昨年7月末であったため、3回目接種が可能となるのは今月末という状況でした。

日頃より、ご利用者、ご家族の皆様にも多大なるご協力をいただき、職員一同、感染防止対策に最大限の注意を行っておりましたが、この度は、ご利用者の皆様及びご家族の皆様、また、関係者の皆様に多大なるご迷惑をおかけすることとなり誠に申し訳ございません。

全国でオミクロン株の感染が急速に拡大しつつあり、あと数週間程度は状況の悪化が続く可能性が高いものと考えております。職員の同居家族の関係先(特に学校やこども園等)での陽性者の報告が多発しており、業務の継続に懸念を覚える状況となりつつありますが、詳細な情報を可能な限り収集して、「より安全」な職員が誰かを検討する等、リスク低減のための努力を続けております。

引続き、関係の方々への検査と健康観察をすすめ、可能な限りの対応をさせていただきたいと考えておりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和4年1月24日
社会福祉法人 東光会
介護老人保健施設サンビレッジ
施設長 小林 芳人